

## 信州の土木 魅力のマップのあらたな高みを目指して

(初のウェブサイト展開によるデジタルアーカイブの構築と発信)

### 土木・環境しなの技術支援センター

#### 1 研究事業の背景と概要

第 31 回助成事業で進めた信州の土木魅力のマップ進化事業を紹介する。

社会基盤を維持し、災害時における役割を果たしていくには、インフラへの理解をさらに広め、土木インフラの魅力向上、土木を担う人のモチベーション向上がますます重要になっている。

その目標に寄与することを目指して作成した「信州の土木 魅力のマップ」は、最初の発行以来 10 年間でおよそ 5 万部を発行、様々な機会に信州の土木 PR の役割を担い、関心をもっていただいた。

この役割をさらに継続し、発展させるため、印刷マップの改訂とウェブサイトの新規構築による魅力発信の拡大に取り組んだ。

具体的取組を次のとおりとした。

①魅力ある土木遺産の追加、PR 内容を最新版にするなど、掲載内容を見直した。

②古い施設だけでなく、魅力ある新しい施設も対象として広げていく。

③地域の観光資源として活用できる内容を加えた。

取り組みに活用できる内容を加える

④情報が印刷マップのみであった土木遺産やインフラについてウェブサイトでの発信により、活用の幅を大きく広げた。



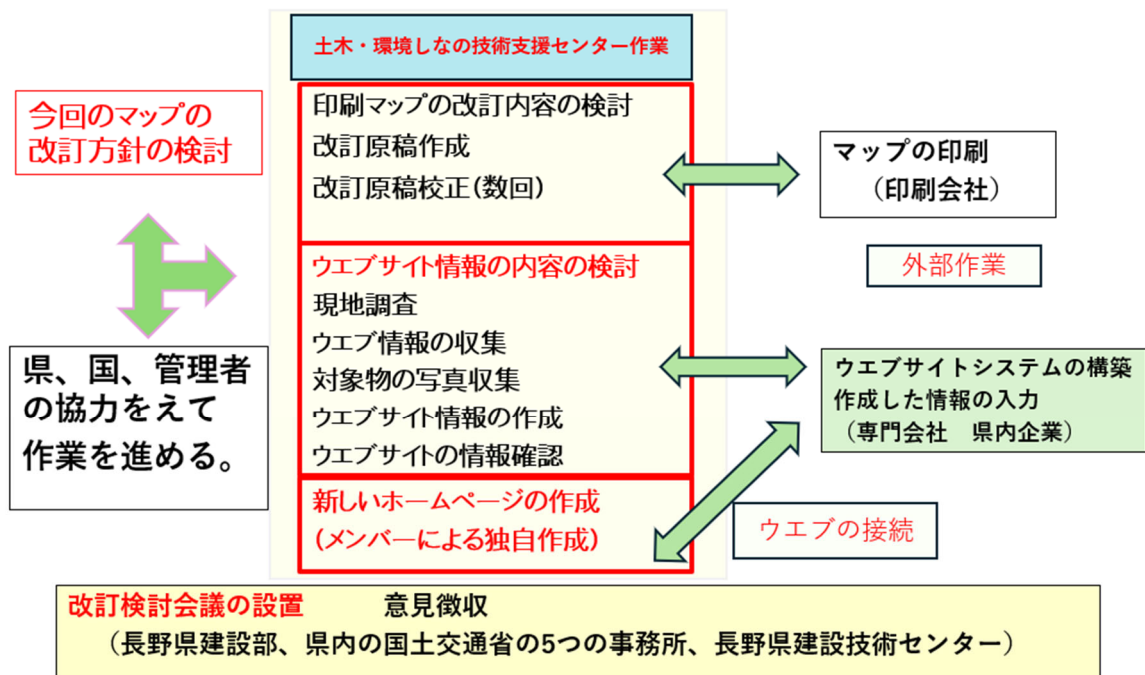
\*平成 27 年 3 月初版 第 5 版まで 5 万部

\*配布 県内: 県庁、県機関など

県外 銀座ながの、土木学会他

## 今回の取り組み 作業開始から約10ヶ月

### マップの改訂をどのように行ったかー手作り、手探りの作業



## 2 改訂方針と検討会議の設置

### (1) 改訂方針

\*限られた期間内であり、メンバーで対応できる作業内容とした。

\*ウェブサイトに掲載する施設が500点余に及ぶため、効率的な作業とシステム構築専門会社との作業分担が求められた。

これらを踏まえて、図に示すような作業方針をまとめて、メンバーでの分担により作業を進めた。

### (2) 検討会議の設置

マップに掲載する土木遺産や各施設は公共インフラが多くを占めるため、情報提供いただく施設管理者の情報を頂くなど協力が不可欠であった。

そこで、長野県建設部や県内の国土交通省に参加を御願ひして、「検討会議」を表のメンバーで構成し、2回の会議において意見を頂いた。



上:検討会議の開催状況 下:構成メンバー

	所 属
座長	国土交通省長野国道事務所
委員	国土交通省千曲川河川事務所
委員	国土交通省松本砂防事務所
委員	国土交通省天竜川上流河川事務所
委員	国土交通省飯田国道事務所
委員	長野県建設部技術管理室
委員	長野県建設技術センター

## 検討会議の開催状況

第1回：2025年8月

マップの改訂内容、ウェブサイトの構築方針の説明、その検討

第2回：2026年2月

改定案の内容、最終確認にむけて

改訂作業の状況は随時メールにより共有して、意見などをいただいた。

## 3 事業の成果

### (1) パンフレットの改訂

- ・イメージが普及している既発行のパンフレットを踏襲し、新しさが感じられるようデザインに変化を加えた。
- ・現場見学案内に加え、新たに防災情報の伝達欄を追加し、土木の広い役割をさらに普及することを目指した。



印刷マップに追加した防災情報等

### (2) 専用ホームページの作成

ウェブサイトの構築にあたっては、入り口となる専用のホームページを設けることがシステムの普及やメンテナンス上必要と考え、作成に取り組んだ。

メンバーが担当し、直営で作成した。

#### ウェブサイトの入り口となる専用ホームページの作成

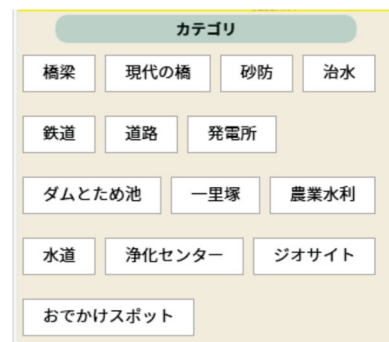


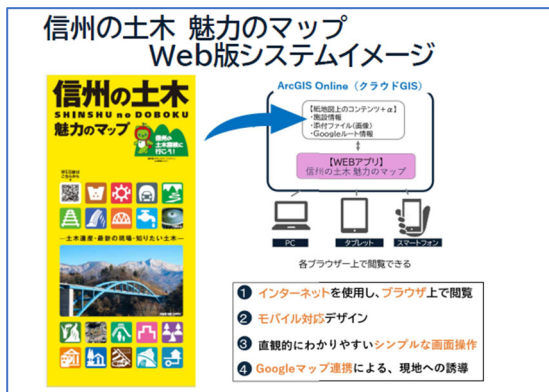
なお、改訂したマップのダウンロードもサイトからできるようにした。

### (3) ウェブサイトの構築

ウェブサイトで発信する情報には、「位置情報」が不可欠のため、また公共インフラの情報が多く含まれることから、安定的かつ確実な情報発信のため、アプリは長野県建設部の理解をいただき、「長野県インフラデータプラットフォーム」上で開発および配信することとし、そのノウハウを持つ県内企業（(株)長野技研）の協力をえて新たに開発した。情報は、ArcGIS Online 上にマップを作成、利用、管理することとなるが、今回ウェブサイトに掲載する箇所は 500 箇所余におよぶため、従来のマップでつくってきた分野をもとに、カテゴリーライズすることとした。

→  
情報を提供する遺産などの分野、分類





左図にウェブシステムの概要と特徴を説明図を示す。システムの基本は以下のとおりとした。

- ①インターネットを使用し、PC、スマホなどの複数のブラウザで閲覧可能
- ②モバイル対応したデザイン
- ③直観的にわかりやすいシンプルな画面操作をめざす。
- ④Google マップ連携による、現地への案内機能実装



表示される地図は、ArcGIS で供給される写真地図ほか様々なタイプの地図を背景にすることができる。

現地への案内機能では、詳細画面から「ルート検索」をクリックすると、Google マップが起動し現在地からのルートを表示出来るようにした。

今回構築したウェブサイトのような場合、情報提供に基づくトラブル防止のため、利用者の自己責任を明確化する利用規約承諾ウィンドウでの同意を必須とした。



#### ウェブサイトの今後

まずはウェブサイトを普及させ、利用の拡大することが今後の重要な課題である。

一方初めての取り組みであり、改善すべき課題や新たな情報などに対応を求められる可能性があるため、一定期間後には状況の把握と検証が必要と思われる。



本事業を進めるにあたり、助成いただいた北陸地域づくり協会、関東地域づくり協会、そして作業にご協力を頂いた長野県、国土交通省の各機関の皆様には謝意を表します。

ホームページのアクセスは

<https://sites.google.com/view/s/ninshu-doboku-map/>



ウェブサイトの概要と特徴説明図